



JBSA お知らせ

No. 1 2010

6月28日
学会事務局

[理事長挨拶] [お知らせ]

ご挨拶

日本バイオセーフティ学会理事長 倉根一郎

山西弘一前理事長の後を継ぎ、本年1月より日本バイオセーフティ学会理事長を務めている倉根一郎です。本学会は、病原体の取り扱いにおける安全管理、安全装置や実験施設設計等、バイオセーフティに関する学術研究の推進やバイオセーフティの普及を図り、バイオセーフティの向上に寄与することを目的として設立された学会です。設立からほぼ10年が過ぎましたが、これまでわが国におけるバイオセーフティの向上に大きな役割を果たしてきました。種々の新たな感染症が出現している今日、その役割は益々大きくなっているといえます。これまで築かれた土台の上に本学会がさらに発展するよう力を尽くす所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、本年12月6-7日には、「日本バイオセーフティ学会のあすを考える」と題して、パシフィコ横浜において第10回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会を開催することとなりました。多くの会員の皆様に参加いただきませうお願いいたします。

お知らせ

第10回学会総会・学術集会 開催案内

第10回学会総会・学術集会を倉根一郎学会長(国立感染症研究所)のもと、平成22年12月6、7日(月、火)にパシフィコ横浜にて開催いたします。「日本バイオセーフティ学会のあすを考える」の標語のもとセッション講演、一般演題発表、器材展示などを企画する予定です。会場はアネックスF205+206(一部屋として使用)を予定しています。次回のお知らせでさらに詳しい案内を行う予定です。多数の参加よろしく願いいたします。

会員からの演題募集による研究発表を行ないますのでふるってご応募ください。

募集演題分類項目:

1. 安全管理全般(安全管理運営、教育・研修、病原体輸送、感染性廃棄物他)
2. 病院・検査室バイオセーフティ
3. 動物バイオセーフティ
4. 安全装置、器具(安全キャビネット他)
5. 施設設計(実験室、病院検査室他)
6. 消毒・滅菌全般
7. その他

演題申込み先: 第10回学会総会・学術集会事務局

〒162-8640 新宿区戸山1丁目23番地1号

国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内

TEL 03-5285-1111 FAX03-5285-1184

E-mail s-iki@nih.go.jp

締切日: 平成22年9月30日(木)

演題募集案内は下記URLでご確認ください。

http://www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/information/2010/info_kaisai_2010.pdf

第5回アジアパシフィックバイオセーフティ(A-PBA)学会

第5回A-PBA学会が2010年5月25-28日にソウルにて開催されました。2日間のプレカンファレンスワークショップと2日間の会議が行われました。約35ヶ国、260人の参加がありました。参加報告を後日「お知らせ」に掲載する予定です。

理事会報告

日時:平成22年3月20日(土)

14:00-16:50

場所:感染研 戸山庁舎共用第3会議室

議事要旨

1. 第9回学会総会・学術集会総括報告

賀来会長より約100名の参加があり、平日の開催、新型インフルエンザ流行等で参加者がやや少なかったが、盛会のうちに行われた旨報告があった。

集会の会計報告を北林前会計担当理事が行なった。

2. 2009年度(1-12月)会計報告

学会の会計報告を北林前会計担当理事が行なった。

倉根理事長から、今年度は学術集会の会計を学会とは分けて行う旨提案があり了承された。

3. 新理事による運営担当者の選任

2010-11年度の運営担当理事

- 1) 総会・学術集会:倉根
- 2) 庶務:黒澤
- 3) 会計:小暮
- 4) 選挙:吉川、倉根
- 5) 学術:倉田
- 6) 広報(ニューズレター):賀来
- 7) ガイドラインWG:篠原
- 8) 海外:ABSA;黒澤,EBSA;篠原,A-PBA;杉山,IFBA;篠原(統括倉根)

事務局は杉山とすることが確認された。

監事は倉根理事長から川又氏への依頼が確認され受諾された。2009年度退任者について、倉根理事長から引き続きオブザーバーとして参加していただくよう要請があった。

4. 2010年度活動 予算確認

2010年度(1月-12月)予算(案)については昨年12月の総会にて提示してある。2009年度の決算がでたので、それを含め今年の総会にて説明を行う。総会が年度末(11-12月)に行われてきているので変則的な予算立てになっている。毎回、総会には3段階で説明をしている。今年の総会では2009年度決算報告と2010年度予算(案)の修正案および2011年度予算(案)の説明を行う。2010年度には海外渉外費、ガイドラインWG運営費が盛り込まれていることが確認された。

5. 第10回学会総会・学術集会準備状況連絡

倉根会長から平成22年12月6、7日(月、火)にパシフィコ横浜で開催し、実行委員長に杉山理事が、プログラム委員長に感染研安藤室長、副委員長に同西條室長がなる旨の報告があった。

6. ニューズレターの発行と作成担当者について

ニューズレター編集委員会委員長は広報(ニューズレ

ター)担当理事の賀来理事が行う。学会が掲げているテーマ毎に以下のように委員を置くこととなった。

- 1) テーマ1実験室バイオセーフティ:杉山
- 2) テーマ2病院バイオセーフティ:賀来
- 3) テーマ3動物バイオセーフティ:黒澤
- 4) テーマ4安全装置・施設設計:北林・小暮

今後、委員会で作業を進める。ニューズレター表紙案が示された。

7. 第4回シンポジウムの企画

年1度の総会のほか学会活動としてシンポジウムを企画したらどうかとの提案について、前理事長から十分に準備をしてくださいということで実施されてこなかった。今回具体的な提案はなかったが、研修の開催等を含め、検討することとなった。(※学術担当理事を新規におくことになり倉田理事が担当となった。)

8. A-PBA・IFBAの対応(ABSA)

IFBA(International Federation of Biosafety Association)について篠原理事から説明があった。2009年に前身のIBWG(International Biosafety Working Group)から組織を明確化した。JBSAは組織機関となっている。第20回会議はスロベニアで4月23日に開催される。篠原理事が参加予定。

A-PBA(Asia-Pacific Biosafety Association)の次回総会は5月25-28日にソウルにて開催される。杉山、篠原理事が参加予定。

2010年度予算に海外渉外活動費が計上されており、後日学会負担の参加者を理事長と打ち合わせる。

9. 学会総会・学術集会(学会)等参加費および講演者等への支払いに関する内規

内規について資料のとおりで行うこととなった。座長については、会員が行うとすることで問題とならないののではないか、また展示参加企業等の参加者が1名程度学会参加を無料にしても良いのではとの意見があったが、当面原案通りとし、問題がある場合には検討することとなった。資料には示されていないが賛助会員の参加は会員として参加費を払ってもらっている。

10. 第11回学術集会会長の選出

理事長から候補理事に打診することとなった。

11. その他

- 1) 海外学術団体からの情報収集のため1名の年会費を学会で持つことが了承された。担当者は提供・報告を行う。

ABSA(American Biological Safety Association):黒澤
EBSA(European Biological Safety Association):篠原
A-PBA:杉山

- 2) 監事の定員が2名であるが、川又監事のほか、山西先生または相楽先生になってもらうように依頼したい旨、倉根理事長から提案があった。
- 3) 学会としてバイオセーフティ管理者の認定をするようにすること等の検討が必要であることが確認された。

学会費納入

2010年度(1月-12月)の年会費 5,000円(正会員)、30,000円(賛助会員)をご納入くださいますようお願いいたします。納入に際しましては、すでに発送いたしております「払込取扱票」にてご納入ください。

なお、入会金 1,000円、2009年度(1月-12月)までの正会員年会費 5,000円及び賛助会員年会費30,000円を未だ納入していただけていない会員の方は、同様に「払込取扱票」にてご納入くださいますようお願いいたします。

学会開催案内

第10回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会
学会長 倉根一郎 (国立感染症研究所)

会期:平成22年12月6, 7日 (月、火)

会場:パシフィコ横浜

第53回アメリカバイオセーフティ (ABSA)学会年次会議

会期:2010年9月30日-10月6日

場所:デンバー、コロラド

<http://www.absa.org/>

第13回ヨーロッパバイオセーフティ (EBSA)学会年次会議

会期:2010年6月22-23日

場所:リュブリアナ、スロベニア

http://www.ebsaweb.eu/EBSA_13

新規会員紹介

正会員

小玉 祖康 株式会社小玉設計
東京都世田谷区若林2丁目10番12号

賛助会員

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構
沖縄県うるま市州崎12-22

第10回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会事務局
(第10回集会事務局)
〒162-8640 新宿区戸山1丁目23番地1号
国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内
TEL 03-5285-1111
FAX 03-5285-1184
E-mail s-iki@nih.go.jp

学会事務局 :
国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内
〒162-8640 新宿区戸山1丁目23番地1号
TEL 03-5285-1111
FAX 03-5285-1184
E-mail ksugi@nih.go.jp
<http://www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/gakkaiannai03.html>

第 10 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

学会長： 倉根一郎会長(国立感染症研究所)

会 期： 平成 22 年 12 月 6, 7 日(月、火)

会 場： パシフィコ横浜

「日本バイオセーフティ学会のあすを考える」の標語のもとセッション講演、一般演題発表、器材展示などを行う予定です。
会員からの演題募集を行いません。ふるってご応募ください。

～ 募集演題分類項目 ～

1. 安全管理全般
(安全管理運営、教育・研修、病原体輸送、感染性廃棄物他)
2. 病院・検査室バイオセーフティ
3. 動物バイオセーフティ
4. 安全装置、器具(安全キャビネット他)
5. 施設設計(実験室、病院検査室他)
6. 消毒・滅菌全般
7. その他

演題募集の締め切りは平成 22 年 9 月 30 日(木)です	
申込方法	プログラム作成用紙と講演要旨記入用紙をダウンロードのうえ、電子メール及びファックスで送信する(ファックスの代わりに郵送も可)。
申込先	集会事務局 (第 10 回集会事務局は学会事務局内となります) 〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室内
Tel	03-5285-1111 (内線 2420)
Fax	03-5285-1184
Email	s-iki@nih.go.jp